

【発行】

生活支援コーディネーター通信

宝塚市・社会福祉法人

宝塚市社会福祉協議会

宝塚市安倉2-1-1

TEL:0797-86-5003

FAX:0797-86-5069

デザイン・編集 中嶋心春

baum

[baum]

Vol.12

まちの中の小さな居場所「住みびらき」

?? 住み開きってなに??

⇒ 住み開きとは、自宅などを使い、
交流の場や趣味の教室を開く、
「住み」家を「開く」という造語です!!
近年、新しいコミュニティの在り方として注目
されつつある言葉です。

今回は宝塚で住み開きの活動をされている
方にインタビューしてきました! ✨

あそびの先生

ひろせさん



(家を開く)

「あそびの先生」という活動通じて子どもたち
の主体的な成長をサポートされている広瀬さん

その活動の一環として自宅を開いて「ゆるり」
という居場所づくりをしています。

?? なぜ自宅を開放したの??

「色々理由はあるけど...一番は自分が外で
活動していると、自分のつながりは広がる
けど、子どもたちのつながりは広がらない
ことですね。みんなで子育てができれば良いし、
私も誰かの子育てを支える場をここで開くこと
で、助け合える場所を作ろうと思いました。他にも、
場所を借りるとお金がかかるし、気軽に始められ
るというのも大きかったですね。」と家を開くこと
について話してくれました。



(心を開く)

～広瀬さんの活動への思い～

「家を開くことは自身のプライベート空間に
入ってきてもらうこと」

「人を招くには家を片付けないと」との思い
もありましたが、「片づけられないよね」を
共感したい。来てくれる方にがんばり過ぎなく
ても良い、肩の力を抜いてもらえる、自身
もがんばり過ぎない居場所を作っておられま
す。また、広瀬さんの子どもは発達障害があ
りました。「みんなに迷惑を掛けたら...と心
配するのではなく、みんなに知ってもらおう
と思いました。そうすることで、地域の方が
子どもを見守ってくれるようになりました。
困ったら誰かが助けしてくれると思うと子育て
がとても楽になりました。そして、自身も誰
かにとってそんな存在でいたい。」と話して
くれました。

↓ Instagram



＼裏面は...! /

18歳高校生

中嶋心春さん

にインタビュー

裏面「たからづかのお宝さん」

私がおうちスタジオをopenすることを
決意したのはとある病気がきっかけでした。

【たからづかのお宝さん】

高校3年生
中嶋心春さん
(18)



病気を乗り越えたその先の未来に
向かって、勇気を届けたい！！

そう語ってくれたのは高校3年生の中嶋心春さん。

心春さんは自分のお部屋をセルフフォトスタジオとして提供しています。市内の公立高校に通っていた心春さん。高校1年生の夏、体調を崩し、医師に起立性調節障害という診断を告げられました。激しい頭痛、めまい、倦怠感で立つことすらできない毎日…。公立高校に通えなくなり、オンライン授業を受けられる通信制の高校に転校。そんな苦しい状況の中でも、「自分の大好きなこと」にはいつもまっすぐでいられた」と話してくれました。絵を描いたり、写真を撮って編集をしたり、趣味で自分の部屋をバルーンで飾り付けしていたそうです。

そんなある日、とあるママさんに、我が子の誕生日フォトをお部屋で撮らせて欲しいと依頼されたそう…！ 自分や自分の特技を必要としてくれる嬉しさ…。このきっかけがセルフフォトスタジオの活動へと踏み出す大きな一歩となったそうです。そして、創作活動を通じ人と関わるが増えたことで、病気と向き合い、ありのままの自分を受け入れることができるようになりました。

これからは「病気のことを知ってもらいたい、当たり前毎日に感謝して、ボランティア活動にもチャレンジしていきたい、そんな自分を発信し、同じような悩みを抱えている人たちを勇気づけられたら」と明るく将来の夢を話してくれました。

【たくさんの小さな居場所がつながって】

宝塚市ではこのような自宅を開く活動が少しずつ増えています。少人数だったり自宅なので周知がしづらかったりなど、小さな活動かもしれません。しかし、自宅だからこそルールに縛られることなく、自分の関心ごとから活動ができる。住み開きは小さな居場所ですが、活動者同士がつながっていくことで、人の輪が広がり、素敵な出会いが生まれていました。

今回のお2人からは、近隣関係が希薄になっている現代だからこそ、「家を開く」ことの意味を教えていただけたいように思います。

活動を始めたい、もうすでに活動をしているよ、活動に参加してみたいという方は、ぜひ社協までご連絡ください。



おうちセルフフォトスタジオcoro

← Instagram

はこちら!! 🌸

今回の「ばうむ」は【たからづかのお宝さん】中嶋心春さんにデザインしてもらいました！